

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

評価項目の考え方

(1) 1次選定項目(候補地域を抽出)

①建設用地に適さない地域を除外する。

ア 自然環境を保全すべき地域
⇒自然公園地域等

イ 土地利用を図るべき地域
⇒市街地、レクリエーション施設等

ウ 防災面で施設建設が望ましくない地域
⇒地すべり危険区域等

エ 国有施設等
⇒自衛隊演習場、駐屯地等

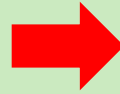
②収集運搬効率を考慮した地域を優先的に選定する。

ア ごみの収集運搬が効率よく行える地域
⇒収集運搬が安価となる地域を優先的に選定

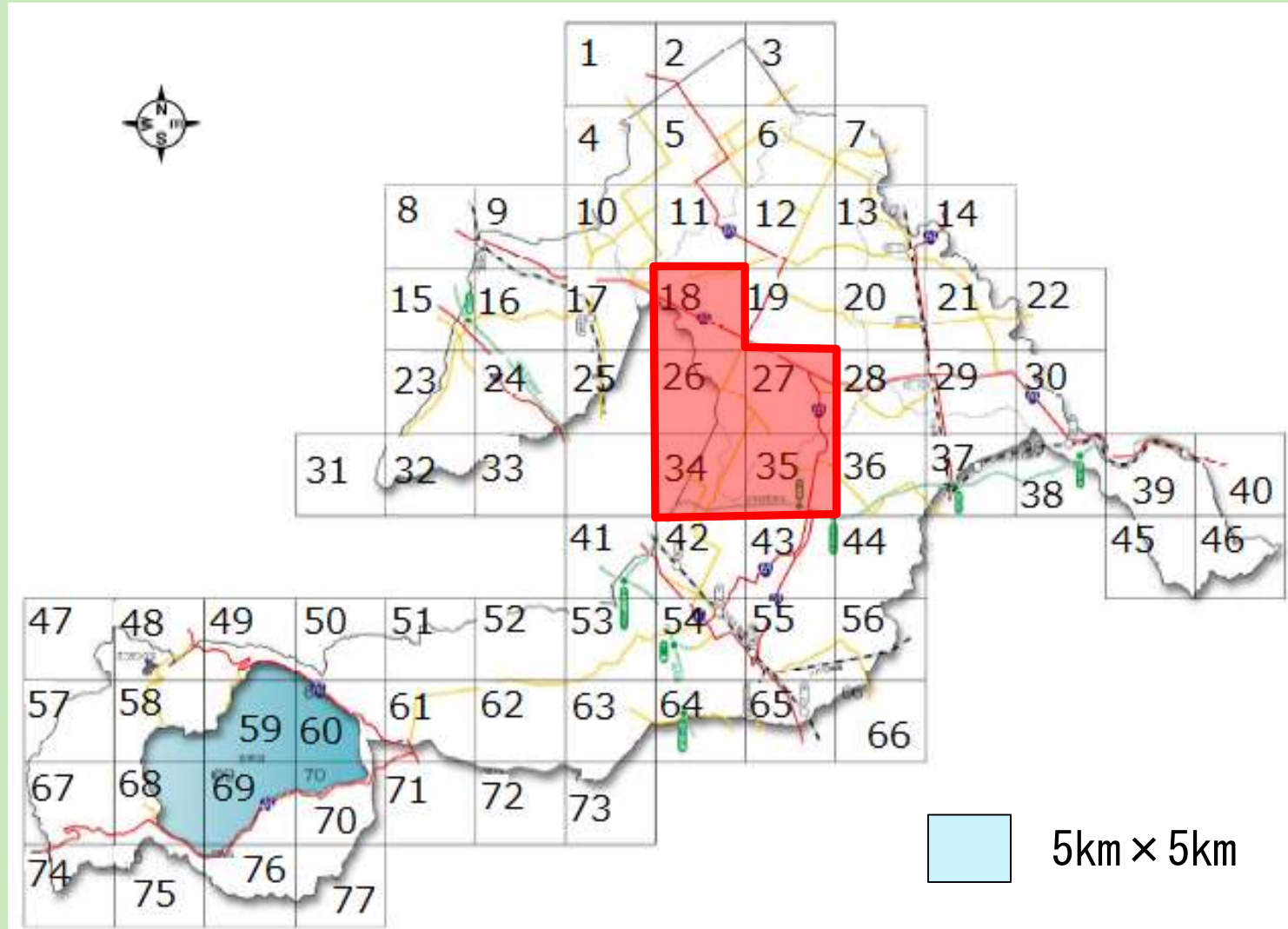
イ 関係市町の収集運搬費用のバランスがよい地域
⇒2市3町が負担する運搬費用のバランスがよい地域を優先的に選定

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

77メッシュ



5メッシュ



(2) 2次選定項目(候補地を抽出)

- ① 1次選定で絞り込んだ地域において建設用地に適さない場所を除外する。
 - ア 住宅から一定距離以内にある地域
 - イ 文化・教育・福祉・医療・保健施設から一定距離以内にある地域
 - ウ 関係市町以外の自治体から一定距離以内にある地域
 - エ 活断層から一定距離以内にある地域
 - オ 土地改良事業(完了してから一定期間経過した地域を除く)に関する地域

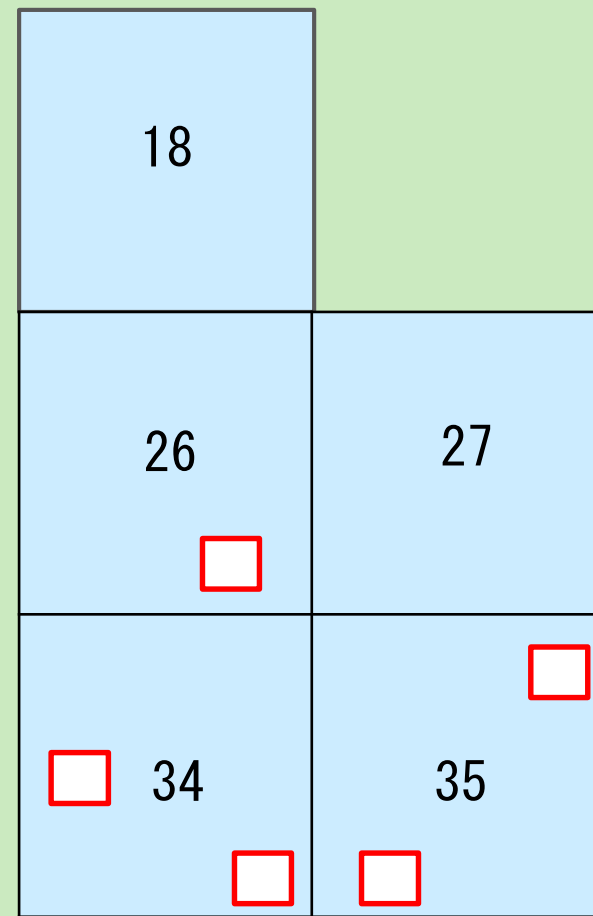
- ② 1次選定で絞り込んだ地域において社会基盤整備状況を考慮した地域を優先的に選定する。
 - ア 主要道路からの距離が短い地域
 - イ 上水道、下水道の整備状況が優れている地域

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

5メッシュ



5メッシュの中から数箇所の候補地を選定



□ 候補地 (例)

(3) 3次選定項目(最適な候補地の選定)

3次選定では、2次選定で抽出した各候補地から最適地を選定するが、選定方法として、**評価項目**を設定し、各項目の評価基準に基づいて点数化等の比較により、総合的に評価する。

①土地に関する評価項目例

項目	考え方(望ましい条件)
土地利用状況	多くの市民が利用する土地ではなく、原野等の利用度の低い土地である
土地利用規制の有無	住居専用地域等の土地利用規制がない
地形、地質	急傾斜地・くぼ地等の地形、軟弱な地盤ではない
想定震度	活断層からの距離がある
高度	搬入車両、建設費を考慮した平坦な土地である

②周辺環境に関する評価項目例

項 目	考え方(望ましい条件)
住宅等からの距離	周辺に住宅等が少ない
水源までの距離	周辺に水源がない
アクセス道路	幹線道路に近く、大型車両の出入りが容易である
インフラ整備状況	電気、水道、電話、下水道等が敷地周辺まで整備されている

③ごみの運搬に関する評価項目例

項 目	考え方(望ましい条件)
収集運搬費用	収集運搬費用が安価である
構成市町の収集運搬バランス	構成市町の収集運搬単価のバランスがよい
収集車の車両集中の可能性	①収集車両が集中しないよう複数の搬入道路がある ②近接する道路が混雑していない

④施設配置に関する評価項目例

項目	考え方(望ましい条件)
敷地面積	将来的に、施設の増築等を考慮した広い土地の確保が可能である
配置動線の利便性	ごみの搬入・搬出が容易な施設内の配置が可能である
周辺施設との連携	周辺施設までの距離が短い

⑤費用に関する評価項目例

項目	考え方(望ましい条件)
土地取得費	土地の取得費が安価である

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

1次選定
(77メッシュ→
5メッシュ)

2次選定
(5メッシュの中から数
箇所の候補地を選定)

3次選定
(候補地の中から
最適地を選定)



5km × 5km



候補地



1か所

※ 候補地は例として表示しています。実際の候補地ではありません。

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

評価項目の事例

和歌山県有田周辺広域圏事務組合

●概要

①構成自治体	有田市	湯浅町	広川町	有田川町
②人口（約7.9万人）	約3万人	約1.3万人	約0.8万人	約2.8万人
③面積（約475km ² ）	約36.9km ²	約20.8km ²	約65.3km ²	約351.8km ²
④整備施設と概算規模	焼却施設（約65トン/日）～平成33年度稼働予定 リサイクルセンター（約21トン/日）			
⑤選定方式	公募地と推薦地を委員会で比較検討			
⑥点数算出方法	加点法			



第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

関係市町の推薦地3か所と公募地3か所の計6か所を対象として選定

●法規制等に該当する場所を建設候補地から除外する。

①国立公園	⑧史跡名勝天然記念物
②国定公園	⑨緑地（特別・緑地保全地域）
③県立自然公園	⑩鳥獣保護区（特別保護区）
④保安林	⑪砂防指定地
⑤海岸保全地区	⑫地すべり防止区域
⑥墓地	⑬急傾斜地崩壊危険区域
⑦伝統的建造物群保存地区	⑭都市計画の用途区域指定（住居系地域）



6か所中2か所が除外・1か所が取り下げにより3か所選定

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

候補地となった3か所を対象とし、選定項目・評価基準に基づき、最適地を選定する。

●選定項目（1/3）

評価項目		配点	比較要件
社会条件	①土地利用条件	2	周辺の留意すべき土地利用
	②公共施設の状況	3	学校、病院、公園等公共施設の立地状況
	③運搬の安全性	4	
	④住宅の状況	3	候補地周辺の住居の立地状況
	⑤景観	1	周辺からの眺望
	⑥文化財保全	2	文化財の存在状況
	⑦自然環境保全	1	植生自然度
		1	鳥獣保護区
	⑧防災関係	3	災害危険箇所の存在
社会条件 小計		20	

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

●選定項目（2/3）

評価項目		配点	比較要件
施設建設の条件	①運搬効率	9	ごみ量×運搬距離(庁舎からの距離)
	②住民の利便性	8	
	③関連設備		
	ア. 電気	3	電気(6.6kV)の引き込みの難易
	イ. 水道	3	必要水量(200t/日)の確保・引き込み先
	ウ. 排水	3	放流先の同意、放流水路接続の難易
	④開発の余地	4	
	施設建設の条件 小計	30	

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

●選定項目（3/3）

評価項目		配点	比較要件
経済性条件	①用地の造成費	30	
	ア. 取得費		必要敷地面積の確保に要する取得費（概算）
	イ. 造成費		造成費（概算））造成期間
	ウ. 取付道路整備費		第3種第4級（幅員7.0m）の整備費（概算）
	②施設建設費		
	③関連設備の整備費		
	ア. 電気		引き込みに要する電気工事費（概算）
	イ. 水道		引き込みに要する水道整備費（概算）
	ウ. 排水		放流水路の接続に要する整備費（概算）



区分/地区	山田地区 (推薦地)	西広地区 (推薦地)	川口地区 (公募地)
社会条件	10.5点	10点	12点
施設建設の条件	15.5点	21.5点	16点
経済性条件	30点	28.5点	26.5点
総合評価点 (80点満点)	56点	60点	54.5点